



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともしよう

◆点鐘：小林 恵一 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
◆司会：新藤 幸紀 S.A.A. ◆会場：大沼デパート



Yamagata West Rotary

第2816回例会

平成30年7月2日(月)

会長挨拶

小林 恵一 会長



暦は7月に入りロータリーは今日から新たな年度がスタート致します。

本日から菅原幹事をはじめ理事、役員、委員長の新たなメンバーで、大旨これから1年のあいだ当クラブの運営に力を合わせ尽力して参る所存です。宜しくお願い致します。

尚、今日の初例会開催にあたりまして、新藤SAA並びに副SAAの皆さんには予めより会場の設営にご配慮頂きました。感謝を申し上げます。

西ロータリークラブは一昨年、鈴木会長のもと創立60周年の記念すべき年度を経て、そのあとを引き継がれた昨年は、ともすれば大変難しい年度であったろうと推察致しますが、半田直前会長のリーダーシップのもと五十嵐幹事とともに次の70周年へ向けて再び力強く第一歩を踏み出して頂きました。基本的に本年度はこの流れを継承して参りたいと考えております。

中国の古典「十八史略」に『四時の序、功を成した者は去る』という言葉があります。四時というのは、春、夏、秋、冬のことです。春は春の役割をしっかりと果たして夏にゆずっていく。夏も秋も冬も同じです。それぞれの役割を精一杯果たして、次の季節に移っていくわけです。何千年、何万年と続く宇宙の摂理から人も逃れることは出来ません。役割を果たした人は常に、次の人にバトンタッチし去っていく。最も半田直前は去ることなくクラブに留まって頂きますが、またそうでないと困るわけですが、これを受けて私は会長として「自分の役割を果たさなければならぬ」と誓い継承させて頂く所存です。同時にその責務を思うとき大変身の引き締まる思いです。

会長としての準備期間中、坂部前長期特別委員長の纏められたアンケートの資料を参考に致しましてクラブをいろいろな角度から検証させて頂き、改めて思ったことは、我がクラブの会員一人一人が、それぞれの分野でキャリアと実績を積み、活動しておられる方々によって構成されていることを再認識致しました。また、長期にわたり在籍され、経験豊富で人間味溢れる先輩諸氏がクラブの構成表に厚みを増している。有難いことであります。もし、西ロータリークラブに伝統ありやと問われれば、この構成表のバランスこそが我がクラブの伝統であり活力源であろうと思えます。

会員一人一人が奉仕の理想というロータリー精神を理解

し、それぞれ独自の目標とプライオリティをもってクラブの活動に貢献して頂いております。これからもクラブの内外に於いて、それぞれ独自の花を咲かせて頂きたいと願っています。そのために菅原幹事とともに微力を尽くしてまいりたいと存じますので宜しくお願い致します。

ニコニコBOX

小林恵一 会長／今日から小林・菅原年度がスタートします。1年間宜しくお願い致します。

飯田喬之さん／やんべ焼陶芸教室、展示会に3日間、150名という多くの方にご覧頂き、誠にありがとうございました。

菅原茂秋さん／一年間よろしくお祈りします。第62代幹事ということで、身の引き締まる思いであります。西RCの歴史と伝統をしっかりと受け継いだ運営に務めてまいりますので、何卒よろしくお祈り申し上げます。

五十嵐 信さん／心からのエール。フレッシュなお二人にエールを送ります。小林会長、菅原幹事、加油！（じゃよー）→頑張れ！！（中国語）

遠藤栄次郎さん／新年度にあたって。小林会長の活躍を祝って！！

伊藤義彦さん／新年度の小林会長、菅原幹事に御期待します。健康に留意されてがんばって下さい。飯田さんの陶器の個展に行ってきました。すばらしかったです。

半田 稔さん／小林恵一年度の船出をお祝い申し上げます。1年間体に気をつけ、がんばってください。

武田元裕さん／ガンバレ！！小林年度。ご期待申し上げます。

結城和生さん／小林菅原新体制へエール。細めの小林会長、太めの菅原幹事、息ピッタリの船出にエールを送ります。

坂部 登さん／小林丸船出おめでとうございませす。

鈴木浩司さん／新年度会長、幹事頑張れ！！

大西章泰さん／損保協会山形支部会長就任。6/29に損害保険協会山形支部会長に就任いたしました。山形新聞にも大きくとり上げていただきましたのでニコニコいたします。

S.A.A.一同／S.A.A.として例会等を運営してまいります。若いメンバーで1年間頑張りますのでよろしくお祈りいたします。

ニコニコボックス委員会／1年間よろしくお祈り致します。

幹事報告

菅原 茂秋 幹事

- ロータリーレートは、先月と同様で1ドル110円になってございます。
- 今日、例会開催後に理事会のほうを開催させていただきますので、委員、理事の方お集まりいただければと思います。

委員会報告

親睦・家族委員会

武田 岳彦 委員長

会員の方が7名、奥様が6名、今月お誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

五十嵐 信 前幹事

- 報告書の未提出、まだ3人いらっしゃるの、今週中をお願いします。
- 請求書ですけども、7月末までに届かない場合は、お支払いできなくなる可能性ございますのでよろしくをお願いします。

会長、幹事、S.A.A. 会計 年度方針説明



会長方針

小林 恵一 会長

会長所信表明

山形西ロータリークラブは一昨年、鈴木会長のもと創立60周年の記念式典を開催、持ち前の結束力でこれを成功裏に導くことが出来ました。同時に対外的に多くの方々から賞賛を得て100名規模のクラブとして、その低力を示す結果になったと思います。周年事業の開催は、複数年にわたる準備期間をとおして徐々に盛り上げて行きますので終わった後の年度は、それなりに大変難しい運営になると思われませんが、半田年度はこれをしっかりと受け継いで次の70周年へ向けて力強い一歩を踏み出されました。また、運営面においてもクラブの現状にたらし定款細則の改定等を行って頂きましたので、基本的に本年度はこの流れを継承して参りたいと考えています。

一方、ロータリーは歴史上未だかつてない大きな変革期にあると思います。

各クラブは、従来にもまして自主性と責任が問われるようになると同時に、先の規定審議会では注目すべき幾つかの革新的な採択が見られました。会員が年々減少し高齢化していくロータリーの現状をくい止めるため規則や運営面でのハードルを下げて、より多様な分野から若い人たちの入会を促進しようとするものです。

山形西ロータリークラブは、このような時代の趨勢を冷静に見極め変化に柔軟に対応しつつ「歴史と伝統のクラブ」として、何を貫いて行くべきか考えて行かなければなりません。このような時節、第62代会長の重責を担うことになり身の引き締まる思いです。

1905年のシカゴで、わずか4人のメンバーによって発足したロータリークラブは、その後順調に発展・拡大し今や120万人余りの会員を擁する国際ロータリーへと変貌を遂げました。それは奉仕を通して常に変わりゆく地域社会のニーズに真摯に向き合い意義ある活動を積み重ねてきた113年に及ぶ歴史でもあります。会員制クラブを基盤として、世界のほぼすべての国や地域で会員一人一人が奉仕の理想というロータリー精神を理解し、それぞれ

独自の目標とプライオリティを掲げて活動しています。

2018-2019年度RI会長のバリー・ラシン氏は、RIテーマを「インスピレーションになろう」(BE THE INSPIRATION)とされました。インスピレーションとは『何かをやるという気持ちを起こさせる力』という意味だそうです。

前向きな変化を生み出し私たちが今日直面する課題に勇気と希望、創造性をもって立ち向かう意欲をクラブや地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があると唱えられました。

これを受けて、RI第2800地区ガバナーの上林 直樹氏は、地区の基本理念を『ロータリーの原点に戻ろう』BACK TO BASICS と定め、ロータリーの本質は「親睦のなかから奉仕の理想を生み出す集団」であり、パフォーマー(表現活動者)となつてあらゆることに積極的に参加し行動して行こうと唱えておられます。

そして、2016年規定審議会への具体的な対応として、奉仕プロジェクトの充実と推進及び公共イメージの向上、若い世代の会員増強並びにデジタル志向のニーズに応えることが重要とされました。またRIは例会に関して月に2回以上行う限り、いつ、どのぐらいの頻度で開くか、或いは例会をキャンセルするか、何をもって例会とするかについて、その裁量をクラブに与えるとしております。更に、会員身分についてもRI定款から会員資格6項目を削除し、職業上および地域社会で良い評判を受けており且つ「奉仕する意欲のある人」という簡潔な会員資格に変わっています。

ロータリー自体、これまでもそしてこれからも常に変化に満ちています。ロータリーの未来に何が待ち受けているか、それは誰にも分かりません。しかし、我がクラブは歴史と伝統のなかに培われた奉仕と友情の強固な土台を礎に、これからも変化に柔軟に対応して行くものと確信しています。

さて、皆さんの人生にとってロータリーは今どのような存在でしょうか？

半田直前会長は昨年度のクラブテーマを「あなたのロータリーを見つけよう」とされました。あなたのロータリーを見つけられたでしょうか？

地域社会のなかで、事業人、職業人として仕事をとおして、或いは生活や家庭のなかで、活動する領域を問わず100人の会員があれば100通りのロータリー活動、ロータリーライフがあると思います。

私は、今年度のクラブテーマを

「あなた自身のロータリーを生きる」

ところに奉仕と友情の灯をともしよう

と致します。

私の知る限り会員一人一人が、すでにかけがえのないロータリーアンであり且つ会費を納めてクラブの運営や奉仕活動に貢献して頂いております。

会員一人ひとりが、もう一度自分自身の原点に立ち返り、来し方を見つめ立ち位置を確認し、あなたが育んできた真にあなた自身のロータリーを力強く生きて頂きたいと思っています。そして、ここに奉仕と友情の灯をともしましょう。

それがクラブを力強く支える力になると思いますし、ひいては地区やRIに貢献するパワーになると信じています。

以上、会長としての所信表明並びにクラブテーマについて申し上げます。

各委員会への要望事項

今年度の運営方針を簡潔に説明させていただきます。各委員会への要望事項は以下の通りです。

1. クラブ管理運営常任委員会

(1) 出席委員会

例会への出席は、ロータリーを理解し知り合いを広め友好を育むための第1歩です。メークではなくクラブ例会への出席をお願いします。年間出席率95%以上が目標です。

(2) 親睦家族委員会

今年もビアパーティ、クリスマス家族会、新年会、観桜会を実施したいと考えています。取り分けクリスマス家族会、観桜会については、会員のご家族の参加に配慮した企画をお願いします。奥様誕生日のプレゼントを企画して下さい。

(3) プログラム委員会

例会を魅力ある充実したものにするため講師の選定や実施へ向けた準備と調整をお願いします。他の委員会主管の例会との調整を図って下さい。

(4) 友好クラブ委員会

高知南RCの60周年記念式典が11月3日に確定しています。訪問の準備をお願いします。アトラクションの準備等を考慮頂ければクラブ間の友好促進に効果的だと思います。

2. 会員増強常任委員会

(1) 職業分類・会員選考委員会

入会にあたり従来のような職業の要件は実質なくなりました。一方、社会情勢の変化に伴う新規の職業分野が生まれていることも事実です。未充填分野から新規会員が入会することによりクラブに多様性と活気が生まれ組織の活性化に繋がる可能性が期待されます。現会員の職業分類の見直しと未充填職業分類表の作成を8月末までをお願いします。会員選考は有為な人材の選考を期待します。

(2) 会員増強委員会

会員数100名の維持が目標です。我がクラブの規模を考慮すれば毎年数名の退会者が出るのは避けられません。3名以上の入会を目標に会員数を維持していきたいと考えています。

(3) ロータリー情報委員会

ファイヤーサイドミーティングと西山会を共催で企画して下さい。新入会員に対するサポートを主眼に、教育的な見地から地区行事への参加や他クラブへのメークに同行をお願いします。

3. クラブ広報常任委員会

(1) 会報委員会

時間的にタイトな中で的確な取り纏めを要求されます。大変な役割をお願いすることになると思いますが、後世に残る記録ですので宜しくお願いしたいと思います。友好クラブや他クラブの会報を取り寄せ交換しあって参考にするのも一方法と思います。

(2) 広報雑誌委員会

当クラブの活動状況を、ソーシャルメディアを活用して地域社会に膾炙されるよう対応をお願いします。昨年の復興支援芋煮会が山新に掲載された例等を参考にしてください。

(3) 史料管理委員会

今年は、広報雑誌委員会から切り離し「史料管理委員会」として整理に当たって頂きます。60周年が経過し保存史料の一部に散逸や不備が無いが長期保存に耐え得るよう資料のチェックと整理・確認をお願いします。

4. 職業奉仕常任委員会

(1) 職業奉仕委員会

異業種の仕事や職業を見聞・体験することに意義があります。職業奉仕の本質に迫る卓話や職業紹介等を考えて見てください。

(2) 職業交流委員会

今年も球風会、西風会、写楽クラブの企画や運営のサポートをお願いします。新たな試みとして日本の伝統文化に触れる茶会を検討して下さい。伝統文化に触れ親睦と友好を深めることが出来ればと考えています。

5. 奉仕プロジェクト常任委員会

(1) 社会奉仕委員会

開始から4年が経過した復興支援芋煮会については、昨年の報告書の内容と分析を踏まえ被災地の実情に即した新たな視点で実施するよう検討願います。

(2) ニコニコボックス委員会

奉仕活動の貴重な財源となるものですが、気持ちよくニコニコして頂けるよう好意的で友好的な働きかけと工夫をお願いします。

(3) 青少年委員会

次世代を担う若者を育成する役割を担っています。山形市中高生英語弁論大会への支援継続と山形大学若手研究者への支援についても検討願います。米山奨学生を例会やクリスマス等に招待し交流の機会として下さい。

6. ロータリー財団・米山奨学常任委員会

(1) ロータリー財団委員会

寄付金は、ポリオプラスに代表される国際ロータリーの活動や地区補助金の貴重な財源となります。一人当たり150ドルが目標です。

(2) 米山奨学委員会

奨学金は、外国から日本に来る留学生に支給されます。最大の特長は「カウンセラー制度」により奨学生一人一人に世話クラブが決められロータリーとの交流の起点になること、また会員から選ばれたカウンセラーが奨学生の相談役として精神面を支えます。この独自の精度が絆を育む土壌となるのです。留学生が日本のことを理解してくればロータリーの目的である世界平和へと発展することが期待されます。

一人当たり1万5千円、特別寄付は千円から可能です。

7. S.A.A

例会場の現場を取り仕切り進行を司る重要な任務です。気品と風紀を保ち清新な雰囲気づくりをお願いします。

8. 会計

適正で健全な会計処理をお願いします。

以上です。1年間ご協力の程、宜しくお願い致します。尚、只今の内容については、後日計画書に掲載いたしますので、ご確認頂ければと存じます。



幹事方針

菅原 茂秋 幹事

今年度幹事の方針といたしまして、小林会長が先ほど申し上げられたクラブテーマ、「あなた自身のロータリーを生きる ところに奉仕と友情の灯をともしよう」を常に念頭におきながら、小林会長が示された方針に基づいて活動してまいりたいと思っております。歴史と伝統のある山形西ロータリークラブであります。62代目幹事としてロータリークラブの歴史、目的をしっかりと深めてまいりたいと思っております。そのためにも私自身まだ入会7年目ということで、クラブ定款、細則という部分の理解を深め、規約に則った運営というものを努めてまいりたいと思っております。何とぞご指導ご鞭撻いただければと思っております。

詳細につきましては、各委員長、常任委員長、委員長の皆さま方から改めてご報告いただきますので、ここでは突出した取り組みの部分について若干のお話をさせていただきます。今回、4回目を迎えた復興支援芋煮会を、社会奉仕委員長の武田さんから石巻の地域に行ってください、今、現状の石巻地域における復興の課題部分について、検証をさせていただきます。その認識の中で、地域のコミュニティの分断をどう支えて

いくのかというところが課題であろうということで、我々が訪問して被災地の事情なども理解した上で、コミュニティを再構築できるような場づくりというものをさせていただく形になろうかと思っております。

先ほど小林会長からもございましたが、お茶会例会を開催して、日本の歴史・文化に学ぶというところをぜひ深めていく。お茶会例会をもみじ公園の茶室をお借りしまして、開催をさせていただく。その前段ではお茶の卓話などもいただいて、認識を深めた上で進めていきたい。

そして、今年は高知南ロータリークラブが60周年の周年事業がありますので、友好クラブの委員長の戸田さんを中心にご協力をいただきまして進めていきたいと思っております。

私自身は各委員長の皆さま方、また会長の方針に則って委員長の皆さま方の運営をお支える立場と心得ております。気軽にお電話をいただいた上で、すぐに対応させていただきたいと思っております。委員長の皆さま方には携帯のほうにどんどん電話をいただければと思っておりますので、何卒よろしくお願いを申し上げます。幹事としましては、小林会長の方針に基づいて、しっかりと取り組んでいくというのが私の主旨でございますので、その内容をご理解の上、運営にご協力をいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。どうもありがとうございます。



S.A.A 方針
新藤 幸紀 S.A.A

今年1年間、S.A.A.を担当します新藤幸紀です、どうぞよろしくお願い申し上げます。最初にメンバーを紹介させていただきます。先ほど、ロータリーソングの際にタクトを振っていただきました、遠藤正明副S.A.A.、そして大西章泰副S.A.A.、高嶋俊幸副S.A.A.です。

赤いたすきをかけたメンバーが会場内を歩き回りますので、目障りかとは思いますが、S.A.A.の業務ということでご容赦をいただきたいと思っております。S.A.A.というアルファベットで表示される委員会ですけれども、Sergeant at Arms「武器を携行した軍曹」という意味です。それだけ恐ろしい存在なんです、今年のS.A.A.メンバーは非常に人なつっこい、柔らかいメンバーがそろっておりますのでよろしくお願い申し上げます。

日本語で言うとS.A.A.は「会場監督」というふうに表示されてまして、例会等の正式会合を仕切るのが役割になります。耳障りなことを申し上げるかもしれませんが、そこはS.A.A.の立場上、ご容赦をいただきたいと思っております。

先ほど、小林会長から発表がありました会長方針に則って、私たちが1年間の務めを果たしてまいります。やはり山形西ロー

タリークラブとして60年余りの歴史がありますので、その歴史を踏まえた上で気品、そして風紀を保って清新な雰囲気づくりで例会を運営してまいりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

例会時には皆様、バッジの着用を励行していただきたいと思っております。また、この1年間も会場内は禁煙とさせていただきますので、そういったご協力もよろしく賜りたいと思っております。

あと今日、欠席のメンバーが2人いましたので名前だけご紹介させていただきます。佐藤淳さんと横山隆太さん。合計6名のメンバーですので、6名で協力し合い会長、幹事を支えながらがんばってまいります。どうぞ1年間よろしくお願いいたします。



会計方針
三沢 大介 会計

本年度会計を仰せつかることになりました三沢といたします。副会計には橋本慶昭さん、この2名で今年度の会計を行ってまいります。皆さんのテーブルにあります予算書案は、例年に倣って作成しましたが大きく変わる点は、今年度は会員98名でスタートしております。この98名の会費に24万円をかけたものが予算額ということで計上しております。また、前年度の繰越金の金額がまだ確定しておりませんので、その分が入っていないので、昨年度から比べると増減の幅が大きくマイナスになっています。本年度は幹事からもありましたが、高知南の60周年の参加の為、前年に比べて大きく予算を取っております。また、お茶会例会ということで、職業奉仕委員会の事業においても前年度と比べて予算を増やしてでございます。

また、会費につきましては前期分は7月31日まで、後期分は1月31日までで、皆さんにお支払いのお願いをしております。今週末に前期分のご請求書を会員の皆様にご郵送する予定ですので、お振り込みをよろしくお願い申し上げます。

また、各委員会等々でいろいろ出費があった場合は、その都度菅原幹事、もしくは私三沢まで請求書等々を持ってきていただければ、スムーズにお支払いするように努めてまいりたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年1年、会員の皆さまからお預かりする会費を、適時適正な出納業務と予算管理を徹底しまして、進捗の可視化に努めてまいりたいと思っております。また、毎月の進捗状況を正確に把握し、会長、幹事と共有を図りながら、適正な財政運営に努めてまいりますので、ぜひ1年間よろしくお願い申し上げます。

第2815回の会報の幹事報告の中でお見舞いをさし上げたのは、新藤会員でした。お詫びし訂正致します。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (7/2)	98名	60名	修正出席 (6/18)	99名	86名	82名	95.35%
メイクアップされた会員	(山形南) 大西 章泰、橋本 徳光、戸田 正宏、長谷川浩二、後藤 光政、橋本 慶昭、富田 浩志、風間 義朗、 武田 博文、武田 秀和、酒井 啓孝 (山形中央) 木村 孝、吉田 福平 (山形) 大城 誠司、長谷川浩二、橋本 徳光、後藤 光政、伊藤 義彦、小林 廣之、木村 孝、風間 義朗、 武田 博文、石井 雅浩、中山 眞一、伊藤 歩、海和 将浩						